

大正五年四月六日第三種郵便物認可 大正十一年六月二十八日印刷納本(毎月一冊一日發行)

哲 學 研 究

第 七 卷 第 七 册

第 七 十 六 號

大 正 十 一 年 七 月 一 日 發 行

カントに於ける認識客觀性の問題 (承前)

文學士 岡野留次郎

大寶令に定められたる大學寮の教育史上に於ける意味

文學士 高橋 俊乘

シユタムラーの法理的範疇論について (完結)

文學士 恒 藤 恭

順世外道論

文學士 手島 文倉

彙報、新著紹介其他

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內
京 都 哲 學 會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
 - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
 - 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一、書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得ルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學士	植田壽藏
文學博士	狩野直喜
文學博士	小西重直
文學士	澤村專太郎
文學博士	高瀬武次郎
文學博士	田邊元
文學士	千葉胤成
文學博士	朝永三十郎
文學博士	西田幾多郎
文學博士	野上俊夫
文學博士	波多野精一
文學博士	深田康算
文學博士	藤井健治郎
文學博士	松本文三郎
文學士	務臺理作
文學博士	米田庄太郎
書記	寶殿方夫

出來ない意義を有し統一せらるゝ所以を明にするは自ら別箇の問題に屬する。而して此問題に解答を與ふるものは哲學體系の一般として、しかも其終末を形るに心理學の課題であり、其特有なる職分である。かゝる心理學は従つて普通一般の心理學と其趣を異にするものである事は云ふ迄もない。

併し果して其如何なる内容のものであるかは、コーエンが遂にこれに關する著述を公にするに至らずして逝いたが故に、詳しくは知悉することは出来ない。彼の哲學體系は此點に於て未完成であること云つてもよい。かるが故に彼の衣鉢を繼ぐナトルフは「批判的方法による一般心理學」なる著述を公にし、コーエンの意を祖述せんとして既に其第一巻を公にしたことは多くの人の知る所であらう。

此處に紹介の筆を擱くに當つて、再び譯者の厚き勞力に對して深き敬意を捧げて置かう。東京岩波書店發行、定價金四圓（阿野

留次郎）

京都帝國大學ニ於テ來ル八月一日ヨリ第十三回講演會ヲ開ク聽講志望者ハ左記要項參照來ル七月二十日限り申込マルヘシ

- 一、聽講者ノ資格ハ別ニ定メズ
- 一、講演終了後聽講日數其他ヲ査定シ證明書ヲ授與ス
- 一、聽講志望者ハ聽講科トシテ一科目ニツキ金貳圓ヲ添ヘ申込マルヘシ但シ申込書ニハ聽講科目、族籍、現住所、年齢及業務ヲ記載シ宛名ハ京都帝國大學講演會トスルコト
- 一、宿泊所等ニ就テ申出アルトキハ成ルヘク便利ヲ與フヘシ
- 一、講演科目、講師及時間割等左ノ如シ

鐵筋混凝土構造學	測量術概論、轉鏡儀、水準儀、視距儀、平板ノ使用方法及使用實習、寫眞測量ノ方法、計算尺、測面器、流測器使用法、地形測量術。	9-11	9-11	一日二日三日四日五日七日八日九日十日							講 師		
				火	水	木	金	土	月	火		水	木
7-9	7-9	9-11	9-11	火	水	木	金	土	月	火	水	木	醫學部教授 宮本英俯
7-9	7-9	9-11	9-11	火	水	木	金	土	月	火	水	木	醫學部教授 石川日出鶴丸
7-9	7-9	9-11	9-11	火	水	木	金	土	月	火	水	木	醫學部助教授 近藤泰夫
7-9	7-9	9-11	9-11	火	水	木	金	土	月	火	水	木	工學部助教授 坂靜雄

木造建築構造學
工學部助教授 藥井厚二

現代生活實活
電力の發生と傳送。電
車、電氣自動車、エ
レベーター等。鐵道電
氣化論

ニ於ケル
電氣工學
寫眞電氣計。火災報知
機。電氣時計。電燈。電
氣制御料

ノ理論ト
幻使。照明。積算電力計。電
氣制度。電話。電氣密
閉

其應用
燈用。無線電。電話。電氣密
閉。機械其の他

認
識
論
文學部教授 西田幾多郎

中央亞細亞(西域)史概論
文學部助教授 羽田亨

曲
解
析
幾
何
學
、
微
分
學
初
步
ノ
知
識
ヲ
要
ス
練
理學部教授 和田健雄

飛
行
機
ノ
力
學
理學部教授 玉城嘉十郎

膠
質
科
學
概
要
理學部教授 大幸勇吉

經
濟
史
一
班
經濟學部教授 財部靜治

右ノ外會期中左ノ科外(夜間)講演ヲ開ク(聽講料ヲ要セス)

八月一日 午後七時 歐洲戰後各國憲法變化ノ狀態

八月二日 同 閱

八月三日 同 食糧問題ヨリ觀タル我カ人口問題

八月四日 同 顯微鏡ヨリ觀タル金屬(幻燈使用)

八月五日 同 植物ノ生態(幻燈使用)

八月七日 同 社寺ト地方文化

法學部教授 市村光惠

文學部講師 岩井勝二郎

經濟學部教授 山本美越乃

工學部助教授 澤村宏

理學部教授 那場寛

文學部講師 中村直勝

寄贈書籍雜誌

佛陀教說の外延

文學士 渡邊 樸雄著
東京 新光社

哲學概論上卷

東京 伊達 保美著
東京 文保書房

倫理學原理

文學博士 土屋 幸正著
東京 天地書房

哲學雜誌、丁酉倫理講演集、心理研究、東洋哲學、日華公論、
教育研究、内外教育評論、學校教育、教育、教育學衛界、教育時
論、教育界、精神運動、國際聯盟、文化運動、藥王樹、三田文學

前 號 目 次

シユタムラーの法理的範疇論について(承前)	法學士	恒 藤 恭
順世外道論	文學士	手 島 文 倉
教育強制の權利根據に關するコーン氏の說(承前)	文學士	伊 藤 猷 典
抽象的心理學と具體的心理學	文學博士	野 上 俊 夫
彙報、新著紹介其他		

告 會

- 一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候
- 一、會員ニシテ轉居ノ節ハ直チニ其旨御報知被下度候
- 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六叁番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
- 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學
文學部内 京都哲學會
振替口座大阪參〇六六叁番

註 文 規 定

- 會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候
- 本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さるべく候
- 振替貯金にて御送金は(振替大阪三二九五番三九三一番東京三九三一番)内外出版株式會社宛に願上候
- 前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
- 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

定 價

册	數	定	價	郵	稅
一册	册	金	四拾錢	金	壹錢
六册(前金)	册	金	貳圓四拾錢	不	申受
十二册(前金)	册	金	四圓八拾錢	不	申受

廣告料 一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

大正十一年六月廿八日印刷納本
大正十一年七月一日發行

第七十六號 第七卷
京都帝國大學文學部内
京都哲學會

編輯者 寶嚴方夫
有代表者 寶嚴方夫

發行者 大谷仁兵衛
印刷者 村上勘兵衛

不許複製
禁轉載

印刷所 内外出版株式會社印刷部
京都市西洞院通七條南入

發行所

京都市下京區西洞院通七條南
西洞院七條南
内外出版株式會社

振替口座 大阪三二九五番
東京三九三一番

本社 京都市下京區西洞院通七條南
出張所 京都市京橋區加賀町十番地
販賣所 京都市神田區錦町一ノ一九
内外出版株式會社

賣捌所 (東京) 東京堂 東海堂 北隆館
(大阪) 上田屋 至誠堂
(神戸) 寶文館 三文社
(京都) 共盛社 大盛社 川瀬書店

龍谷大學 文學士 野々村直太郎著

宗教學要論

菊判四百五十頁
 總 絹 美 裝
 定價四圓五拾錢
 郵稅貳拾五錢

本書の公にせらるゝに臨み、其披露の辭を親しく著者に望まらる。著者快く應じて云く、本書の研究は、著者が自家の宿題を自家に於て解決せし一私事に過ぎず。而かもたましく世界が之によりて始めて獨立の宗教學を得、従つて學界之が爲に茲に重要な一新科學を添へ得たりとせば、豈に一私事の故を以て必ずしも之を私せんや。思想の混亂は現代の如くにして、宗教の眞相は正に本書の説破するところの如し。出版の擧たる、決して無意義ならざるなり矣。

最新刊

社會式株版出外内

（振替口座大坂）
 參貳九五五番

南條七院洞西市都京

元兌發

大正五年四月六日第三種郵便物認可
 大正十一年六月廿八日印刷納本（毎月一回一日發行）

哲學研究 第七十六號

定價金四拾錢 郵税金壹錢